

もっともっと 住みよい長野県へ 県民の会 新人 は やります

1 教育オール無償化 国民健康保険料の軽減

すでに給食費の無料化に踏み出している町村もあります。教育予算をふやし、計画的に教育徴収金の軽減など教育予算の無償化をすすめます。

健康長寿の長野県をもっと住みよくするために、国の国保料補助増額とベッド数削減中止を求めます。

●保育料の軽減、待機児童の解消など市町村のとりくみをサポートします。

●県の給付制奨学金は、所得制限の撤廃や給付金の増額をすすめます。

●子どもの医療費は、中学卒業まで通院費無料、1レセプト500円の負担金も廃止します。

●高校の30人規模学級を実現します。

●特別支援学校の過密化・老朽化解消。トイレなど学校施設の改修、教室へのクーラー設置をすすめます。

●福祉医療も窓口無料に。国保料(税)は県からも財政支援し、市町村の法定外繰り入れを認めます。

●ベッド数削減の方針を見直し、地域医療を守ります。

●介護保険料の減免制度の創設・拡充、介護職員の待遇改善をすすめます。

2 信頼できる県政運営 南信に第2県庁機能を

●徹底した情報公開と現場職員の声を聞き、県政への信頼を取り戻します。

●大北森林組合事件の徹底した真相究明。

●第2県庁機能は担当副知事を配置します。

3 身近なインフラ整備を重視、農業・ものづくり・観光で雇用の拡大

●公共事業は生活道路など身近なインフラ整備を優先させ、リニアなどの大型公共事業は県民参加で検証します。

●中小企業の税金や社会保険料などの軽減策をすすめ、時給1,500円をめざします。

●ブラック企業の根絶と安定した雇用の拡大を。

●農業の価格保障・所得補償の充実、種子条例の制定。

●くらしと地域経済を破たんさせる消費税増税に反対。

4 自然再生エネルギー100% 災害に強い長野県

●長野県は自然の宝庫。柏崎刈羽、浜岡原発など原発再稼働に反対し、太陽光、小水力、バイオマスなどの条件を生かした普及をすすめます。

●火山県長野にふさわしく、活火山の総点検と観測体制の強化、研究機関との協力をすすめます。

●住宅やブロック塀の耐震改修への支援を強めます。

●災害対策はハード・ソフト両面の強化をすすめます。大雨や大雪の災害に強いまちづくりをすすめます。

5 憲法9条まもり 核兵器禁止条約の締結

●戦前、満蒙開拓に全国一多くの県民や子どもたちを送り出した痛苦の反省の上に、長野県から平和の願いを発信しつづけます。

●憲法を守り生かす長野県づくりをすすめます。

●オスプレイの配備、飛行の中止を求め、平和な空を。

財源はあります

●大型公共事業を抜本的に見直して、予算の使い方を変えれば、借金をへらしながら十分できます。

与野党の相乗り
なんて
納得できない

安倍自民党総裁から推薦証を受け取り、国の政治いいなり県政では、県民のくらしも平和の願いもありません。安倍暴走政治ストップの声、市民と野党の共闘広げようの声をこの県知事選挙の投票で示しましょう。



市民連合原村事務局長 野口 正夫さん

現知事は、安倍首相べったりの県政をすすめている。その流れを県民の会の新人に止めてもらいたい。長野県でも、市民と野党の共闘で政治を変えましょう。



信州長野勝手連・絵本作家 三枝 三七子さん

次世代に原発のような負の遺産を無責任に放置していくわけにはいきません。

リニアなどの問題は原発事業と同根です。一部の利権者だけの政治にSTOP!!!

新しい知事は、市民共同の代表を



8月5日
県知事
選挙

ウソとごまかし
災害対策より宴会

アベ政治NOの審判を 長野からはっきり示そう!



県民の会代表

長野県の未来と
県民のくらしを託せるのは?

県民の会 新人

くらし優先

格差と貧困が拡大し、県の調査でも子どもがいる世帯で「生活困難家庭」は25%に。県民のくらしは待ったなしです。

県民の会の新人は、上田市職員・市議員として44年、住民と共に地方自治に携わり、「住民のくらし第一」を貫いてきました。

安倍政権の暴走ストップ

国にしつかり モノ言う

沖縄県知事や愛媛県知事のように、県民の立場に立って国に対してはつきりモノをいう知事が求められているのではないだろうか。

「アベノミクス」は貧困と格差を拡大し、地方を壊しました。

県民の会の新人は、ウソとごまかしの安倍政権ときっぱり対決、暴走政治から長野県と県民のくらし、平和を守ります。

県民目線

77市町村すべてまわりました
直接お聞きした声に応えます

国や県の都合ではなく、県民のみなさんのくらしの現場で直接声を聞かせていただき、県政運営に生かします。

新人候補の訴えをお聞きください

私は、農家の長男として上田市に生まれ、6歳の時父を交通事故で亡くしました。私は母を助けて、ヤギの世話、田んぼ仕事、お蚕さんを飼って、文字通り朝も夜も、小学校から高校まで働きました。

早朝の桑取り作業のさまたげになるといつて仕事が終わると母が家中の電気を消してしまうこともしばしばで、勉強をすることもできません。私もつらかったですが、母は何倍も切なかったと思います。

「一人ひとりの苦勞がむくわれる社会へ」、それが私の原点です。

市役所で25年間つとめました。45歳の時、要請を受けて市議会議員に。もつと市民の役に立とうと決意しました。19年間の議員活動で3千件の生活相談にのり、深刻な相談も受けました。いま県の生活と健康を守る会会長として全県を回っています。

今回、77市町村のすべてを回り、たくさんさんの願いを聞かせていただきました。弱い立場の人たちに政治の光があたり、全県各地のみなさんが元氣と希望をもつてくれる長野県になるよう全身全霊をかけて働く決意です。みなさんの大きなご支援を、よろしくお願いいたします。

現職知事

大型事業で借金増やす

くらしに 冷たい県政

大型事業が続く、県の借金は過去最高水準の1兆7千億円余と、一般会計の2年分を超える深刻な事態です。

その一方で、高すぎる国保税(料)を抑えるために市町村が行っている一般会計からの繰り入れに「反対」しています。

安倍首相から推薦証

国いいなり

前回から自民党の推薦を受け、今回も安倍晋三首相から直接「推薦証」を受け取りました。消費税の10%増税と原発を容認。9条改憲には物言わず、リニアは推進しています。自民党主導、国いいなりの県になっています。

上から目線

現場に責任 押し付け

県政史上最大の不幸事といわれる大北森林組合の補助金不正受給問題。県幹部の関与があいまいなまま現地職員に責任を押し付けています。世論調査でも75%の県民がこの対応は「問題」と応えています。

投票に行こう

政治を変える1票は

県民の会の
新人候補へ

